



プーさんの森

くまのウィーニー・ザ・プーは「住民が楽しく暮らせる自然豊かな明るい町」を公約にしてプータウンの町長に当選しました。プーさんはこの町の近くに400エーカー(約160ヘクタール)の土地を持って余しています。この土地は完全に森林におおわれていて、樹齢150年を超え、非常に大きな木で構成される「100エーカーの森」として広く知られている森林を含んでいます。森の中を小川が流れ、絶好の水泳場所もあります。シカやアライグマ、カエル、サンショウウオ(サラマンダー)、キツネなど様々な種類の鳥や動物たちが生息しています。

プー・タウンの大きさは、経済的には中規模の街です。住民の多くは地域の木材会社で働いていますが、隣町のコンピューター部品の工場で働いている人も多くいます。プータウン内の小学校や図書館、いろいろな小規模なビジネスで働く人々もたくさんいます。

プータウンには土地利用計画がまだ設定されていないので、プーさんの森の利用法を検討しなければなりません。市民の中には、家の近くで「原生の自然」を体験することができるように、そこに生息するすべての動植物を丸ごと保護し、地域全体を保存したいと考える人がいます。ある開発業者は、その土地を購入してショッピングモールと高級住宅地を建設することを提案しました。また、地域の森林管理会社はその土地を購入し、持続的な森林管理(森林経営)をしながら、木材などの林産物や野生生物の生息地、美しいハイキングコースを提供することを提案しました。

みなさんが検討すること

プー町長から相談されたクリストファー・ロビンは、市民から委員を募って審議会をつくることにしました。みなさんはクリストファー・ロビン審議会の委員に選ばれました。

町に提出された、3つの提案について、以下の点について検討してください。

- 1) 提案された土地利用はどのような事実に基づいていますか？
- 2) 提案の中では、どのような意見が提示されていますか？
- 3) その提案を受け入れることの利点はなんですか？
- 4) 町の出費は？ マイナスの影響は何が考えられますか？
- 5) その提案で最も利益を得るのは誰ですか？ もっとも損害を被るのは誰ですか？
- 6) その提案を受け入れるならば、どのような変更(もしもあれば)をするべきですか？

この情報に基づきグループとしてこれらの提案のどれを選ぶのか、あるいは、妥協点を探ったり、代替案を提示したりするのかを決定してください。



提案 1

提案：プータウンは「プーさん」の森の所有権を保持し、自然保護地域として管理を行う。町は、プータウンの住民が楽しむことができるよう、ハイキングコースを整備し、維持管理を行う。

根拠：プーさんの森は他にはないユニークな地域である。巨木(中には、高さが 100 フィート(30.5 メートル)、幹周りが 30 フィート(9 メートル)を超えるものもある)が、「100 エーカーの森」の森林を形成している。これらの木々の中には樹齢が 150 年を超えるものもあり、プータウンの町ができるずっと以前から、そこに存在している。その中を歩くことは、信じられないような体験である。他の植物や様々な種類の動物たちも、プーさんの森の中に生息している。

開発のために森の木々を伐採することを許可すれば、それらの生物たちの生息地は破壊されてしまうだろう。プーさんの森の中を流れる小川で産卵する魚も何種かいる。わずか 1 年前に森で行われた調査では、これらの魚が産卵するためには、冷たい水と砂利の河床が必要であることが判明した。もしも、森の一部が伐採され、植生の緩衝帯がなくなれば、
(a)伐採された土地からの土や堆積物が小川に流入し、砂利を覆ってしまう、
(b)小川に日陰を作り、空気を調節していた木々が少なくなり、水温が上昇する、
の 2 つの理由により、魚は産卵することができなくなるおそれがある。森林の一部が木材生産のために管理される場合にも同様の問題が生じると思われる。

プータウンにはショッピングモールは不要である。町の人々が必要なだけの商店は、全て町の中にある。もしも、モールをつくれれば、これらの町で商売をしている人々に何が起るのか？ 廃業に追い込まれるのである！

これほど老齢で、大面積の森林は、我々の住む地域では他のどこを探してもない。一握りのビジネスマンが大儲けするために、どうしてプータウンの人々が彼らの自然遺産を犠牲にしなければならないのか。その地域を保全し、ハイキングコースを維持管理していくことが、今日のプータウンの住民にとっても、また未来の住民にとっても最善の選択であろう。



提案 2

提案：プータウンはプーさんの森をピグレット Tree Farm 社に売却する。ピグレット Tree Farm 社はプーさんの森を多目的に利用するための経営を行う。

根拠：ピグレット Tree Farm 社は、森林所有者の一族の持つ会社であり、プータウン近隣の森林の多くを所有・経営している。造林地で伐採された木は、プータウンにある製材所で木材に加工される。この木材の需要は高く、地域の建設工事に使用されている。

私たちピグレット Tree Farm 社は、町からプーさんの森を買い取することを提案する。我々はこの森を、経済的にも生態的にも持続的に利益をあげられるように経営していく。老齢林はそのまま保存し、重要な生息地を保護するために、小川周辺には緩衝帯を設けることを計画している。その他の部分では択伐を行う。樹木の伐採が、注意深く管理された状況の下で行われることを確実にする。森林の持続可能性を確実にするために、伐採した地区には直ちに植栽を行う。森の中でのハイキングやその他のレクリエーションについても認める。

プーさんの森で生産された木材販売によって得た収入は、切望されているプータウンの経済発展をもたらし、苦境に陥っている教育・社会政策の一助となることが期待される。また、森林管理官、科学者、林業労働者、運搬業者、製材所の労働者に新たな雇用機会を提供する。

森林全体を自然公園として保存することは、重要で、しかも、ニーズの大きい、安価で高品質の木材供給の可能性を閉ざすことになる。しかもプータウンの周辺には既にいくつかの公園がある。プータウンには多くの小売業が存在しており、森林は貴重で少しも無駄にできない。

他の自然資源と同じく、森林も、経済的・社会的・生態的利益を同時にもたらすべきである。我々は持続可能な方法でこれらの利益を提供することができる。もしこの土地がショッピングモールや高級住宅地として開発されれば、貴重な資源と野生生物の生息地は永遠に失われるであろう。我々の管理計画によれば、環境への負の影響は極めて小さく、ピグレット Tree Farm 社が責任ある森林経営の長い歴史を有していることは明白である。



提案 3

提案：プータウンは、大型ショッピングモールと残りの土地に「森林の特徴」を残した住宅地を供給することを目的として、「プーさんの森」をティガーの森開発会社に売却すべきである。

根拠：ショッピングモールは、買い物客にとって非常に便利である。あらゆるお店が一つ屋根の下に集まっており、外へ出ることなく様々なお店を行き来できる。特に悪天候時には大きな利点である。ショッピングモールには全国展開している大型店が多数含まれ、買い物客に幅広い選択肢と、非常に競争力のある価格を提供する。ショッピングモールは広範囲から人々を集め、彼らの買い物はすなわち大きなお金となる。これまで、プータウンだけでなく、近隣のどこにもショッピングモールはなかった。最も近いショッピングモールにも、車で1時間以上かかる。ショッピングモールの建設にはおおよそ80エーカーの土地を要する。図書館を改善するとともに、医療や購入可能な住宅といった社会サービスの供給にも使うことができる。

ショッピングモールを建設した後、私たちティガーの森開発会社は、プーさんの森の別の区域に高級住宅地（3エーカー×80戸、5エーカー×50戸、あるいは10エーカー×25戸）を整備する計画である。これらの住宅地は、町の近くで、緑に囲まれた美しい家を提供することができる。彼らの固定資産税も、学校・図書館、その他社会サービスの改善に役立てることができる。ティガーの森開発会社は、小川周辺の森林緩衝帯を残し、老齢林である「100エーカーの森」を保存する計画である。開発地を通る道路は、散策やサイクリングにも快適なものになるだろう。

森全体を一握りの熱烈的な自然愛好家のために原生自然として保存することは、人々の利益にとって最善ではない。我々の開発計画により、プーさんの森はレクリエーション、レジャー、買い物、商売、住宅など、より多目的な利用に近づくことができる。また、なぜ、ピグレット Tree Farm 社だけが、我々全てのものであるこの森の受益者となるのか。プーさんの森は可能な限り多くの人々の利益となるように開発されるべきであり、我々の提案はそのような利益を提供する。